

平成 25 年度事業報告

1 海外農業農村開発促進調査等事業 海外技術協力促進検討事業 官民連携技術協力促進検討調査

海外農業農村開発促進調査等事業 海外技術協力促進検討事業 官民連携技術協力促進検討調査を下記の通り、実施した。

(1) 官民連携技術協力促進検討調査

(ア) 現地調査

(a) 自然再生エネルギー（小水力）活用検討調査

調査対象国 カンボジア

調査期間 平成 25 年 11 月 17 日～27 日（現地 10 日間）

調査対象機関 在カンボジア日本大使館、JICA カンボジア事務所、水資源気象省、工鉱物・エネルギー省、内閣官房副首相アドバイザー、カンボジア工科大学、イオンマイクロファイナンス等

調査団員 原田 幸治 ADCA 企画部長
西牧 隆壯 東京農業大学 客員教授
瀧本 裕士 石川県立大学環境科学科 准教授
佐々木 直義 株式会社 VSOC 事業開発アドバイザー
倉林 美和 ADCA 主任技師

調査概要

カンボジア王国において小水力発電のポテンシャルに関する調査を行った。現地にはマイクロ水力発電機器を持参し、地域の合意形成を視野に入れ発電のデモンストレーションを実施した。既存配電ネットワークから外れた地域、もしくは既存配電が脆弱な地域を対象とした地域開発、農村開発に寄与する小水力発電の導入事例や現地に適した開発構想案（クラスター型拡張グリッド導入）を提案した。

(b) 灌漑システム総合マネジメント技術導入可能性検討調査

調査対象国 フィリピン

調査期間	平成 26 年 2 月 23 日～3 月 5 日（11 日間）	
調査対象機関	在フィリピン日本大使館、JICA フィリピン事務所、国家灌漑庁、農業省、 国家灌漑庁リージョン 3 事務所、パンパンガ上流統合灌漑システム （UPRIIS）事務所、灌漑施設維持管理組合（IA）事務所、フィリピン稲 作研究所（PhilRice）、中部ルソン国立大学、農業研修局（ATI）等	
調査団員	原田 幸治	ADCA 企画部長
	西牧 隆壯	東京農業大学 客員教授
	中 達雄	独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所農村工学研究所 水理工学研究領域長
	佐藤 周之	高知大学教育研究部 准教授
	荒川 英孝	株式会社三祐コンサルタント 海外事業本部 企画推 進部企画推進課 課長
	高橋 義和	日本工営株式会社 コンサルタント海外事業本部 環 境事業部 地域整備部 部長
	平岩 竜彦	日本工営株式会社 コンサルタント海外事業本部 環 境事業部 地域整備部 参事

調査概要

フィリピン共和国の農業水利施設の現況、維持管理方法を整理し、我が国の蓄積された技術を現地の状況に適合させ導入することで施設機能の維持・改善・増強、水管理効率改善の可能性を検討するため、9つの項目（①小水力発電の活用、②ストックマネジメントの導入、③需要主導型水管理技術の導入、④末端整備の導入、⑤情報通信技術（ICT）の活用、⑥ICT を活用したバリューチェーンの構築、⑦農産物の輸送体系の整備、⑧減災（耐震化対策）⑨気候変動の影響調査）において調査を行った。

（イ） 国内検討委員会の設置および委員会の開催

（a） 自然再生エネルギー（小水力）活用検討調査国内検討委員会

開発途上国における海外農業農村開発に関して、自然再生エネルギー（小水力）活用および具体的開発構想の提案について、技術・手法に関する意見交換を行った。

第 1 回持続的水利用技術導入検討調査国内検討委員会（小水力発電）

日時 平成 25 年 7 月 19 日（木） 15:30～17:00
場所 農業土木会館 2 階 会議室
参加者 12 名

第 2 回持続的水利用技術導入検討調査国内検討委員会（小水力発電）

日時 平成 25 年 11 月 12 日（火） 15:00～17:20
場所 農業土木会館 2 階 会議室
参加者 13 名

第 3 回持続的水利用技術導入検討調査国内検討委員会（小水力発電）

日時 平成 26 年 1 月 9 日（木） 16:30～18:00
場所 農業土木会館 2 階 会議室
参加者 12 名

持続的水利用技術導入検討調査国内検討委員会（小水力発電）現地検討委員会

日時 平成 26 年 2 月 12 日（水） 12:50～14:30
場所 石川県立大学生物資源環境学部
参加者 3 名

国内検討委員会委員

委員長 西牧 隆壯 東京農業大学 客員教授
委員 佐々木 直義 株式会社 VSOC 事業開発アドバイザー
委員 須郷 康史 日本工営株式会社 執行役員 電力事業本部 福島事業所
副事業所長
委員 瀧本 裕士 石川県立大学環境科学科 准教授

委員	横山 隆一	早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 教授
委員	中曾根 知幸	株式会社三祐コンサルタント 海外事業本部 企画推進部 部長
委員	堀 親和	NTC インターナショナル株式会社 取締役 企画本部 本部長
委員	河浪 秀次	日本工営株式会社 コンサルタント海外事業本部 環境事業部長
委員	山本 敦彦	株式会社オリエンタルコンサルタント GC 事業本部 都市地域開発部 農業・農村開発グループ グループ長

(b) 灌漑システム総合マネジメント技術導入可能性検討調査国内検討委員会

開発途上国において灌漑施設の総合的維持管理を行うための、技術・手法に関する意見交換および調査内容の検討を行った。

第 1 回持続的水利用技術導入検討調査国内検討委員会（灌漑システム総合マネジメント）

日時	平成 25 年 9 月 27 日（金） 15:00～16:10
場所	農業土木会館 2 階 会議室
参加者	13 名

第 2 回持続的水利用技術導入検討調査国内検討委員会（灌漑システム総合マネジメント）

日時	平成 26 年 2 月 18 日（火） 15:00～17:00
場所	農業土木会館 2 階 会議室
参加者	11 名

第 3 回持続的水利用技術導入検討調査国内検討委員会（灌漑システム総合マネジメント）

日時	平成 26 年 3 月 14 日（金） 15:00～16:50
場所	農業土木会館 3 階 中会議室
参加者	13 名

国内検討委員会委員

委員長	西牧 隆壯	東京農業大学 客員教授
委員	中 達雄	農村工学研究所 水理工学研究領域長
委員	佐藤 周之	高知大学教育研究部 准教授
委員	中曾根 知幸	株式会社三祐コンサルタント 海外事業本部 執行役員 営業担当
委員	堀 親和	NTC インターナショナル株式会社 常務取締役 企画本部長
委員	河浪 秀次	日本工営株式会社 コンサルタント海外事業本部 環境事業部長
委員	山本 敦彦	株式会社オリエンタルコンサルタント GC 事業本部 都市地域開発部 農業・農村開発グループ グループ長

(ウ) 官民連携技術促進に関する技術会議

開発途上国において農業農村開発技術協力に従事する日本国の技術者等を対象に、開発援助プロジェクトを運営管理するための PCM (Project Cycle Management) 手法を用いて、農村における自然エネルギー（小水力）や灌漑施設総合マネジメント技術の確立をめざす技術会議を開催した。会議の開催にあたっては、現地での調査結果を踏まえ、課題の抽出・整理を行うとともに、会議後は課題に対する対応策、実施方針などを提案として取りまとめた。

(a) 第 1 回技術会議（PCM 手法（計画・立案）研修）

期間	平成 25 年 10 月 1 日～3 日	
場所	農業土木会館 2 階 会議室	
モデレータ	花田 重義	株式会社国際マネジメントシステム研究所
受講者人数	8 名	

(b) 第 2 回技術会議（PCM 手法（モニタリング・評価）研修）

期間	平成 26 年 1 月 28 日～30 日	
場所	農業土木会館 2 階 会議室	
モデレータ	花田 重義	株式会社国際マネジメントシステム研究所
受講者人数	10 名	

(エ) その他技術の導入可能性調査 (国内)

(a) 第 1 回自然再生エネルギー (小水力) の技術導入可能性検討国内調査 (宮崎県)

調査期間 平成 25 年 12 月 9 日～12 月 11 日 (3 日間)

調査団員 原田 幸治 ADCA 企画部長
西牧 隆壯 東京農業大学
倉林 美和 ADCA 主任技師

調査概要

小水力発電導入を検討している都城盆地・西諸地区を訪問し導入に関する課題の聞き取りと現場訪問を行い、途上国で水力発電を導入する上での参考とした。

(b) 第 2 回自然再生エネルギー (小水力) の技術導入可能性検討国内調査 (北陸)

調査期間 平成 26 年 2 月 12 日～2 月 14 日 (3 日間)

調査団員 原田 幸治 ADCA 企画部長
瀧本 裕士 石川県立大学環境科学科 准教授
倉林 美和 ADCA 主任技師

調査概要

北陸 2 県において、小規模またマイクロ規模の水力発電の事例を視察し、関係者からの聞き取りを行った。また、水力発電用らせんを製作している企業を訪れ、技術開発や石川県立大学との共同研究について情報収集を行った。

(c) 第 1 回灌漑施設総合マネジメント技術導入可能性検討国内調査 (愛知用水)

調査期間 平成 25 年 7 月 29 日～30 日

調査団員 原田 幸治 ADCA 企画部長
小浦 拓馬 ADCA 主任技師

調査概要

日本国内における灌漑システム総合マネジメントの事例として愛知用水事業を訪問し、意見交換・現地視察を行い、海外における本邦の農業水利施設・維持管理方法技術導入可能性について検証した。

(d) 第 2 回灌漑施設総合マネジメント技術導入可能性検討国内調査（香川用水）

調査概要 平成 26 年 1 月 14 日～1 月 16 日（3 日間）

調査団員 原田 幸治 ADCA 企画部長
 神谷 康雄 ADCA 技術参与
 倉林 美和 ADCA 主任技師

調査概要

降雨量が少ない讃岐平野においてため池と小河川を有効活用し水管理を行ってきた香川用水の参加型水管理制度を調査し、ストックマネジメントや再生可能エネルギーの活用等、灌漑施設管理に活用できる手法や技術について情報収集を行った。

(e) 第 3 回灌漑施設総合マネジメント技術導入可能性検討国内調査（豊川用水）

調査期間 平成 26 年 1 月 28 日（1 日間）

調査団員 原田 幸治 ADCA 企画部長
 荒川 英孝 株式会社三祐コンサルタント 海外事業本部
 企画推進部 企画推進課 課長
 平岩 竜彦 日本工営株式会社 コンサルタント海外事業本部
 環境事業部 地域整備部 参事

調査概要

愛知用水では需要側・供給側の連携を確立させそれを支える農業水利施設や末端施設が整備されており、こうした我が国の水管理組織やその歴史を調査し、途上国導入への参考とした。

2 国際農業問題検討等補助事業 紛争復興支援のための農民リーダー研修事業

国際農業問題検討等補助事業 紛争復興支援のための農民リーダー研修事業を下記のとおり、実施した。

研修期間 平成 25 年 8 月 24 日～9 月 15 日

研修生 アフガニスタン・イスラム共和国のミラーブ（農民リーダー）8 名

農業灌漑牧畜省（MAIL）の職員 2 名、合計 10 名

(1) 推進検討委員会

事業を円滑かつ効率的に推進するため、協力団体の国際農林業協働協会（JAICAF）と ADCA で構成される推進検討委員会を開催した。委員会は主として方針・手法に関する検討・助言を行った。

推進検討委員会

委員 小林 裕三 公益社団法人国際農林業協働協会 業務グループ 調査役

西山 亜希代 公益社団法人国際農林業協働協会 業務グループ 調査役

森 麻衣子 公益社団法人国際農林業協働協会 業務グループ

(ア) 第 1 回推進検討委員会

日時 平成 25 年 6 月 13 日（木）9:45～11:15

場所 JAICAF 会議室

参加者 5 名

(イ) 第 2 回推進検討委員会

日時 平成 25 年 6 月 28 日（金）11:00～12:15

場所 JAICAF 会議室

参加者 6 名

(ウ) 第 3 回推進検討委員会

日時 平成 25 年 8 月 6 日 (火) 14:00~17:00

場所 ADCA

参加者 5 名

(エ) 第 4 回推進検討委員会

日時 平成 25 年 8 月 21 日 (水) 14:00~17:00

場所 ADCA

参加者 3 名

(オ) 第 5 回推進検討委員会

日時 平成 25 年 9 月 26 日 (水) 15:00~17:00

場所 ADCA

参加者 6 名

(カ) 第 6 回推進検討委員会

日時 平成 26 年 2 月 19 日 (水) 13:00~15:00

場所 ADCA

参加者 4 名

(2) 研修実施

(ア) 座学講義

講義等座学による研修は、HIDA（一般財団法人海外産業人材育成協会）東京研修センター（TKC）で行った。研修プログラムの初日には、研修生による出身地の現状と課題の発表が行われた。これは、研修生同士を含む研修関係者が、各人の抱える背景を理解するとともに、共有することを目的とした。また、発表者自身にとっては、自らの課題を再整理し、研修への意欲を高める場ともなった。

日時 平成 25 年 8 月 27 日~29 日、9 月 5 日~9 月 9 日および 9 月 11 日

場所	一般財団法人海外産業人材育成協会 (HIDA) 東京研修センター
内容	出身地の現状・課題の発表会 日本における水利組織の歴史 日本の灌漑事業の概要と課題 灌漑事業における水利組合の役割・組織化及びネットワークの構築 日本の農林水産業協力 参加型水管理 畑作や営農技術 農協との連携・流通システム 幹線（水機構の維持管理）、改良区の運営 アクションプラン作成・発表

(イ) 現地研修

本研修では平成 24 年度に、灌漑方式がパイプラインではなく、アフガニスタンのほとんどの圃場で利用されている開水路で、末端圃場では地表灌漑を実施している宮城県の大穀倉地帯である大崎地方で現地研修を実施した。平成 25 年度は宮城県大崎地区での研修に加え、アフガニスタン農業の主流を占める畑作に関する講義・現場研修を取り入れ、群馬県前橋市の群馬用土地改良区で研修を実施した。

日時	平成 25 年 8 月 30 日～9 月 5 日 (大崎)、9 月 9 日～9 月 10 日 (群馬用水)
場所	宮城県大崎市、群馬県前橋市など
研修先	東京都中央卸売市場 大田市場 大崎土地改良区、二ツ石ダム、岩堂沢ダム、圃場整備・県灌漑排水事業、大崎市役所、大崎水管理センター、JA 古川カントリーエレベーター 群馬用土地改良区、前橋幹線（水機構）維持管理、ミストチューブ灌漑、農家・集出荷場視察

(ウ) 表敬

日時	平成 25 年 9 月 12 日
----	------------------

表敬先 農林水産省、外務省、JICA

内容 アクションプランの発表、意見交換

(3) フォローアップ

研修後のフォローアップとして、研修中に作成されたアクションプランの実施を推進し、担当 MAIL 職員から以下の報告を受けた。

(ア) フォローアップミーティング

日時 平成 26 年 1 月 22 日 (水) 9:30～

場所 MAIL 副大臣会議室

参加者 6 名 (MAIL 副大臣、研修生 5 名)

内容

研修生から副大臣へ研修参加の報告を行い、各自が作成したアクションプランの実施に向けて今後地域でとりくむ活動について計画を発表した。

(イ) 研修参加者によるワークショップ開催

参加者が本邦研修で学んだ内容を各自のコミュニティで共有し波及させるワークショップが開催された。

(a) 第 1 回ワークショップ

開催日 平成 26 年 3 月 4 日 (火)

場所 ナンガルハール州 Khaiwa 郡

参加者 30 名

(b) 第 2 回ワークショップ

開催日 平成 26 年 3 月 16 日 (日)

場所 カブール州 Paghman 郡

参加者 18 名

3 海外農業開発調査基金

海外農業開発基金事業が下記のとおり行われた。

(1) プロジェクトファイナディング調査

平成 25 年度はプロジェクトファイナディング調査が下記のとおり実施された。

調査件数 6 件

対象国数 4 ヶ国

派遣チーム数 5 チーム

表 プロジェクトファイナディング調査一覧

案件 番号	チーム 番号	国名	案件名	期間
1	1	ミャンマー	バゴー川流域の都市・農村地域間格差軽減のための農村総合開発計画調査	5月13日～ 5月30日
2	2	ジンバブエ	南北回廊アグロインダストリー振興計画	5月18日～ 6月5日
3	3	ブラジル	トカンチンス州穀物輸出促進に向けたインフラ整備計画	6月23日～ 7月5日
4	4	ジンバブエ	ニヤコンバ地区農村開発計画調査	9月9日～ 9月14日
5		ザンビア	カナカントパ地区農村開発計画調査	9月5日～ 9月13日
6	5	ジンバブエ	小規模農民の農業生産強化プログラム(マシゴ州中規模灌漑計画フォローアップ事業)	11月12日～ 11月21日

(2) 若手技術者等育成・支援事業

若手技術者育成・支援事業が以下のとおり実施された。

件数 1 件
 対象国数 1 ヶ国
 申請人数 1 名

表 若手技術者育成・支援事業一覧

案件 番号	国名	研修先	期間
1	ラオス	ラオス国北部農村開発インフラ事業	1月6日～ 3月6日

(3) セミナー開催事業

「平成 25 年度 ADCA 地方セミナー『海外農業農村開発に求められる人材』」を以下のとおり開催した。

主旨

国際機関、本邦省庁、JICA、ゼネコン、NGO・NPO、商社など、国際開発に従事する様々なプレイヤーがいる中、開発途上国において農業・農村開発に従事する本邦開発コンサルタントの役割、実態を正しく社会に知らせ、次世代のコンサルタントエンジニアとなり得る学生たちに農業・農村開発コンサルタントの魅力、やりがいを伝える。

日時 平成 25 年 10 月 26 日 (土) 13:00～17:20

場所 鳥取大学 湖山キャンパス 共通教育棟 A20 大講義室

講演プログラム

開会挨拶 久野 格彦 ADCA 副会長

共催者挨拶 中島 廣光 鳥取大学理事・副学長

来賓挨拶 青山 健治 農林水産省 中国四農政局 設計課長

第 1 部 講演

基調講演

「アフリカにおけるネリカ米栽培技術の確立と普及手法」

坪井 達史 JICA ウガンダ専門家 稲作上級アドバイザー

講演

「アフリカの経験から思うこと」

野坂 治朗 ザンビア国農業牧畜省 農業・農村開発アドバイザー

第 2 部 現場からの報告

「東南アジアにおける研究・教育の経験から」

安延 久美 鳥取大学 農学部 生物資源環境学科 国際環境科学 准教授

「ルワンダ国における農業・農村開発コンサルタントの役割」

荒川 英孝 株式会社三祐コンサルタント 海外事業本部 企画推進部
企画推進課 課長

「短期 JOCV に参加して」

辻本 和紀 鳥取大学 修士課程

第 3 部

パネルディスカッション

モデレータ 西牧 隆壯 東京農業大学 客員教授

パネリスト 坪井 達史

野坂 治朗

鍋田 肇 鳥取大学 乾燥地研究センター 准教授

長井 宏治 NTC インターナショナル株式会社 企画本部

渡邊 直人 株式会社オリエンタルコンサルタント GC 事業部

閉会挨拶 西宮 宜昭 JICA 中国国際センター 所長

(4) 研修事業

研修事業を下記のとおり、実施した。

(ア) 第 1 回 PCM 手法 (計画・立案) 研修

日時 平成 25 年 6 月 17 日～19 日

場所 農業土木会館 2 階 会議室

モデレータ 花田 重義 株式会社 国際マネジメントシステム研究所

受講者数 16 名

(イ) 第 2 回 PCM 手法 (モデレータ/ファシリテータ養成) 研修

日時 平成 26 年 3 月 5 日～3 月 7 日

場所 農業土木会館 2 階 会議室

モデレータ 花田 重義 株式会社 国際マネジメントシステム研究所

受講者数 8 名

(5) 情報収集及び講演会・勉強会等

情報収集および講演会・勉強会等を下記のとおり、開催した。

(ア) ADCA 講演会 (計 6 回)

(a) 第 1 回 ADCA 講演会

日時 平成 25 年 4 月 8 日

場所 農業土木会館
 題目 「農産物貿易交渉と TPP」
 講師 東 久雄 公益社団法人国際農林業協同協会 会長
 参加人数 33 名

(b) 第 2 回 ADCA 講演会

日時 平成 25 年 6 月 26 日
 場所 農業土木会館
 題目 「農業農村開発の最近の動向」
 講師 熊代 輝義 JICA 農村開発部 部長
 参加人数 29 名

(c) 第 3 回 ADCA 講演会

日時 平成 25 年 10 月 8 日
 場所 農業土木会館
 題目 「アフリカの可能性と課題～TICAD V 開催と今後～」
 講師 乾 英二 JICA アフリカ部 部長
 参加人数 29 名

(d) 第 4 回 ADCA 講演会

日時 平成 25 年 12 月 11 日
 場所 農業土木会館
 題目 「マイクロ水力発電と蓄電器による農村地域への電力供給」
 講師 横山 隆一 早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 教授

(e) 第 5 回 ADCA 講演会

日時 平成 26 年 1 月 24 日
 場所 農業土木会館
 題目 「中国農村の変貌：集団所有化の開発方向と農民の権利の実情」

講師 堀口 健治 早稲田大学政治経済学術院 名誉教授、ADCA 理事

(f) 第 6 回 ADCA 講演会

日時 平成 26 年 3 月 11 日

場所 農業土木会館

題目 「世界銀行グループの紹介およびプロジェクトデータの入手法」

講師 池上 隆夫 世界銀行東京事務所

ビジネス・インフォメーション・アドバイザー

(イ) ADCA 青年会議勉強会 (2 回)

(a) 第 1 回 ADCA 青年会議勉強会

日時 平成 25 年 7 月 11 日

場所 農業土木会館

題目 「エチオピア南部州における 農産物流通改善計画マスタープラン調査」

講師 阿久津 隆男 海外貨物検査株式会社 コンサルタント部

参加人数 17 名

(b) 第 2 回 ADCA 青年会議勉強会

日時 平成 26 年 2 月 28 日

場所 農業土木会館

題目 「ODA におけるリモートセンシング活用の可能性」

講師 坂口 英志 株式会社日立製作所ディフェンスシステム社

マーケティング本部 事業開発センター 主任技師

参加人数 17 名

4 定時総会、理事会、運営委員会

定時総会、理事会ならびに運営委員会を下記のとおり、実施した。

(1) 第 37 回定時総会（平成 25 年 5 月 24 日開催）

平成 24 年度収支決算、海外農業開発調査基金運用規定の改定案、理事及び監事の改選

(2) 第 74 回理事会（平成 25 年 5 月 24 日開催）

職務の執行状況の報告

(3) 第 75 回理事会（平成 25 年 5 月 24 日開催）

会長、副会長の互選について

(4) 第 76 回理事会（平成 25 年 11 月 8 日）

職務の執行状況の報告

(5) 第 77 回理事会（書面による開催）

平成 26 年度収支予算案および平成 26 年度海外農業開発基金活用実施計画案の承認

(6) 運営委員会など

(ア) 運営委員会（5 回開催）

(a) 第 1 回運営委員会

日時 平成 25 年 4 月 23 日（火）17:00～18:20

議題 新委員就任、報告事項、今後のスケジュール

(b) 第 2 回運営委員会

日時 平成 25 年 6 月 26 日（水）15:30～16:45

議題 報告事項、今後のスケジュール、世界水会議入会

(c) 第 3 回運営委員会

日時 平成 25 年 10 月 24 日（木）15:00～16:00

議題 報告事項、今後のスケジュール

(d) 第 4 回運営委員会

日時 平成 25 年 12 月 19 日 (木) 16:00~17:00

議題 報告事項、今後のスケジュール、フィリピン災害緊急復旧復興支援等

(e) 第 5 回運営委員会

日時 平成 26 年 2 月 19 日 (水) 16:00~17:00

議題 報告事項、今後のスケジュール

(イ) 農林水産省海外土地改良技術室と運営委員との意見交換会 (6 回開催)

(a) 第 1 回意見交換会

日時 平成 25 年 5 月 15 日 (水) 16:00~17:00

議題 報告事項、プロジェクトファイナンス案件について、今後のスケジュール

(b) 第 2 回意見交換会

日時 平成 25 年 7 月 25 日 (木) 16:00~17:30

議題 報告事項、今後のスケジュール

(c) 第 3 回意見交換会

日時 平成 25 年 9 月 19 日 (木) 16:00~17:15

議題 新委員就任、報告事項、今後のスケジュール、国土交通省 防災技術の海外展開に関する新組織への参加について

(d) 第 4 回意見交換会

日時 平成 25 年 11 月 13 日 (水) 16:00~17:00

議題 報告事項、今後のスケジュール

(e) 第 5 回意見交換会

日時 平成 26 年 1 月 22 日 (木) 16:00~17:00

議題 報告事項、今後のスケジュール、平成 26 年度の農林水産省予算決定等

(f) 第 6 回意見交換会

日時 平成 26 年 3 月 20 日 (木) 16:00~17:00

議題 報告事項、今後のスケジュール

(ウ) 農林水産省農政局からの海外派遣者 (大使館、JICA 専門家) へのレク

農林水産省から海外に赴任する専門家や書記官に対して、赴任前に ADCA の説明を行った。

第 1 回海外レク 平成 25 年 5 月 9 日

第 2 回海外レク 平成 25 年 7 月 31 日

第 3 回海外レク 平成 26 年 2 月 18 日

5 JICA との情報共有

(1) 海外農業開発基金事業プロジェクトファイナディング調査ならびに官民連携技術協力促進検討調査報告会

平成 25 年度に行われた海外農業開発基金事業プロジェクトファイナディング調査ならびに官民連携技術協力促進検討調査の報告会を下記のとおり実施した。

(ア) 第 1 回平成 24 年度プロジェクトファイナディング調査等報告会

日時 平成 25 年 4 月 22 日 15:00～17:00

場所 JICA 本部 111 会議室

報告案件数 4 件

(イ) 第 2 回平成 24 年度プロジェクトファイナディング調査等報告会

日時 平成 25 年 5 月 14 日 15:30～17:00

場所 JICA 本部 111 会議室

報告案件数 3 件

(2) JICA-コンサルタント勉強会

コンサルタント企業を会員とする 4 協会(一般社団法人海外コンサルティング企業協会、一般社団法人国際建設技術協会、一般社団法人海外運輸協力協会、ADCA) の会員代表と JICA が集まる勉強会に以下のとおり参加した。

(ア) 第 1 回勉強会

日時 平成 26 年 3 月 11 日

場所 ECFA 本部 7 階会議室

議題 平成 26 年度における重点(予算等)について、業務改善について、コンサルタント契約を取り巻く状況について等

6 その他本会の目的を達成するための必要な事業

(1) 会員への海外農業開発協力に関わる広報活動

(ア) 広報誌の発刊 (4月、7月、10月、1月)

(a) ADCA ニュース第 96 号

発行 平成 25 年 4 月

内容 巻頭言「多様性の中でこそ、私達は貢献できる。」鈴木 靖四郎
(ADCA 監事)

寄稿「農業分野における ODA 官民連携事業の動向」河浪 秀次
(日本工営株式会社)

プロジェクト紹介「フィリピン国カトゥビグ農業総合開発事業」

ADCA 活動報告、青年会議だより、情報ファイル

(b) ADCA ニュース第 97 号

発行 平成 25 年 7 月

内容 巻頭言「小流域水資源開発・管理の重要性、タイの事例」後藤 道雄
(ADCA 監事)

寄稿「コミュニティ開発という分野」西 元孝
(NTC インターナショナル株式会社)

プロジェクト紹介「エクアドル国シエラ地域における貧困削減のための
小規模農家支援体制再編計画調査」

ADCA 活動報告、青年会議だより、情報ファイル

(c) ADCA ニュース第 98 号

発行 平成 25 年 10 月

内容 巻頭言「稲の人口扶養力に驚く」堀口 健治 (ADCA 理事)

寄稿「農業インフラシステムの海外展開」山本 敦彦
(株式会社オリエンタルコンサルタント)

プロジェクト紹介「ルワンダ国東部県農業生産向上プロジェクト」

ADCA 活動報告、情報ファイル

(d) ADCA ニュース第 99 号

発行 平成 26 年 1 月

内容 巻頭言「2014 年の年頭にあって」青山 咸康 (ADCA 会長)

寄稿「農業・農村開発の動き」岩谷 寛 (JICA 農村開発部次長)

プロジェクト紹介「ジブチ国南部ジブチ持続的灌漑農業開発計画プロジェクト調査」

ADCA 活動報告、青年会議だより、情報ファイル

(イ) メールマガジンの配信

ADCA のスケジュール、会員各社の新規案件および農林水産省農村振興局の派遣情報等を発信するメールマガジンを、6 回 (5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月) 配信した。

(2) 受託業務

JICA 筑波国際センターより、下記の通り集団研修事業を受託した。

研修コース名	技術研修期間*	研修員数
「流域水管理に基づくかんがい排水」	平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 25 年 9 月 20 日	9 人
「農業農村インフラの運営管理の改善」	平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 25 年 4 月 19 日	14 人
「中央アジア・コーサカス地域水利組合振興」	平成 25 年 7 月 23 日～ 平成 25 年 9 月 20 日	9 人

*契約期間とは異なる